

令和 4 年 7 月 6 日

登録番号 13 — 018
氏名 寺岡 剛太

登録番号 14 — 010
氏名 金 志煥

登録番号 15 — 017
氏名 京 里美

大阪市地域公共人材活動報告書

1 派遣日時 令和4年 6月 30日（木） 19:00 ~ 20:45

(初回ヒアリング)

2 派遣場所 特定非営利活動法人インザベース

3 参加人員 6人 (依頼団体1名、公共人材3名、事務局2名)

4 活動内容

①依頼内容（派遣通知書より）

会計処理、助成金等の資金繰り、行政との繋がり、新しい集客方法、今後のボランティアや理事の扱い手など法人成りして、わからない事ばかりなので指導をして欲しい。

②支援内容

初回ヒアリング（経緯、現状、課題、あるべき姿へのヒアリング）

まず、事務局からも公共人材が提供するものの確認をしていただいた。何か具体的な課題を人材側が依頼団体に代わって解決するものではないことを再度確認して頂いた。決して、何もないということではなく、その問題に対して解決の方法や手段などのアドバイスを行うものであることをご理解いただくよう説明を行った。

団体の方が思っている、真の団体のあるべき姿・活動をひきだすようなヒアリングを心がけ、達成目標を具体的にイメージして頂けるよう進めた。

人材側は、会計の専門家、NPOの意義、NPO団体としての組織運営、事業運営に関する専門家となっており、役割分担をしながら進めた。

会社を辞めた際の、社会保険等の納付などに対する質問に対しては、事務局で対応をしていただくことにした。

最終的に、事業の収益状況の確認、今後やりたい事業の確認、優先順位を共有し、ご自身がNPO団体を立ち上げるとは、どういうことかをあまり深く掘り下げてはいないことをご認識いただき今后の派遣内容、派遣回数をご確認いただいた。

とりあえず、NPO の組織運営として、一人でやっていくものではないことを意識してもらうため、可能な日時で他の理事に参加して頂くようお願いした。

(予定)

第 1 回 (NPO 団体の会計処理について)

第 2 回 (理事会、組織運営について)

第 3 回 (事業内容について)

③人材としての所感

活動内容にあるように基本情報の確認を行いながら今後の派遣について調整した。

対話の中で NPO に対する基本的な知識が少ないことが確認され、喫緊の会計処理のほか理事会や組織運営、事業内容などテーマごとに深堀りしながら進めることとなった。

現状に至るまでに活動に対して他の理事と意見の食い違いなどもあったようで、今回の派遣を通じて関係性の回復のきっかけづくりにも貢献できれば良いと思う。

人材としての所感

コロナ禍中の支援という状況は変わらない中で、依頼者の求める支援と我々が提供できる支援のマッチング合せの機会だったと思います。その中で、依頼者が NPO 法人を立ち上げた経緯を聞くと、今回の依頼を少し安易に考えていたところも見受けられました。

次回以降、どのような支援になるかは依頼者のスタンスにもよりますが、こうした機会を持つことができたのも何かのご縁もあるので、NPO 法人の運営を軌道に乗せることができるよう、尽力したいと思います。

人材としての所感

今回の依頼団体の事業内容を鑑み、初回ヒアリングで団体の方の設立経緯と目指すべきビジョンをしっかりとヒアリングする必要があり、結果によっては支援が難しいという結論に達する場合もあると考えていました。しかし、自分の体験を通じて、共感する仲間が増え、同じように苦労している人を少しでも幸せにできる機会を作ろうとした、団体の方の純粋な気持ちがありました。

しかし、NPO 団体としての活動を深く掘り下げてはいないようで、他の二人の理事とのコミュニケーションなど、組織運営も課題のようでした。

やや真面目過ぎるお人柄で、人材と事務局の人数に圧倒されておられた感じで、和ませる会話なども入れたつもりでしたが、終始強張った面持ちだったのがやや心配でした。少し、団体の方の負担が軽くなるよう支援出来ればと考えています。

私のヒアリング内容は当団体の状況を考えた時に、NPO 団体を軸として変更していくべきであったと気づかされました。